

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	浄化槽設置整備事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市浄化槽等設置事業費補助金 交付要項
			04	01	01	11			
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 快適な住環境の整備						市民協働	行政主体	
	2 下水道						担当課係等	環境保全課	
①下水道の整備						環境政策担当			
事業期間	期間限定複数年度（平成30年度～令和 4年度）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 水質保全及び生活環境の向上を図るため、家庭雑排水の適正処理と周辺の水質浄化を行う。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 合併浄化槽の普及により、生活環境の保全と公衆衛生が向上する。	【対象者】 公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業計画区域以外の住民(7年以内の整備予定がない地域を含む)
【全体概要】 公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業計画区域以外の地域に対し、浄化槽の設置等に係る助成を行う。	【特記事項】 特になし。
【令和元年度 事業内容】 転換 5人槽15基 7人槽19基 10人槽 2基 転換外5人槽 8基 7人槽 1基 10人槽 0基 合計45基 撤去30基 配管30基	【令和 2年度 事業内容】 転換 5人槽15基 7人槽24基 10人槽4基 転換外5人槽13基 7人槽 4基 10人槽0基 合計60基 撤去39基 配管39基
【令和 3年度 事業内容】 (予算計上内容) 転換 5人槽15基 7人槽25基 10人槽3基 転換外5人槽 8基 7人槽 7基 10人槽2基 合計60基 撤去40基 配管40基	

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	15,738	15,738	14,204
	県支出金	19,001	23,356	21,967
	一般財源・その他	8,130	15,689	17,755
歳入計（千円）		42,869	54,783	53,926
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 負担金、補助及び交付金	42,869	54,783	53,926
歳出計（千円）（A）		42,869	54,783	53,926
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -1.56 予 -0.70
職員人工数		0.60	0.40	0.40
職員人件費（B）		4,652	3,113	3,113
総事業費（A）＋（B）		47,521	57,896	57,039

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	補助設置基数	基	目標	60.00	60.00	60.00
			実績	45.00	60.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	汚水処理人口普及率 行政人口に占める合併浄化槽による汚水処理人口の比率	%	目標	11.10	12.50	12.60
			実績	12.40	14.05	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画での高度処理型合併浄化槽の設置推進に結びついている
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 合併処理浄化槽設置地域は下水道の未普及地であり妥当である
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 未処理汚水による水質汚染を幅広く知ってもらうことでくみ取りトイレや単独処理型浄化槽からの切替の推進を図る
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 補助を廃止した場合、くみ取り、単独処理浄化槽からの転換が進まず、水質汚濁につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 下水道整備区域に対し、税金を投入していることから妥当である。公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外に対して浄化槽の設置を推進し、公衆衛生を図る
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 浄化槽補助金交付には、現在、受付・検査等を委託しており、補助金交付についての起案と補助金交付を職員が行っている
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助金額には、国、県補助も含まれ、全国的に補助を行っていること、下水道整備区域への公費負担を考えると、公平であると考えられる

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	事業目的である、環境保全としての水質浄化を推進するため、くみ取りや単独処理浄化槽からの転換を推進していく
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 廣原正則
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 高度処理浄化槽への転換の促進及び補助金の予算確保に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 山内美則
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 高度処理浄化槽への未転換の地域へ戸別訪問するなどして、転換促進に努める。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	環境美化事業（政策）						事業類型	業務委託	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	環境美化に関する条例
			04	01	06	03	政策経費		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	市民主体	
	1 環境保全・公害						担当課係等	環境保全課	
②環境美化の推進						衛生担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市内道路周辺の清掃や、環境美化運動を推進し、快適な生活環境づくりに寄与する。	【関連事業】 環境美化事業
【期待される効果】 ごみの不法投棄を無くすことにより、かすみがうら市を快適で住みやすい環境にする。	【対象者】 市民全体
【全体概要】 かすみがうら市全域において、市民参加のボランティア活動による周辺道路の一斉清掃（5月・9月・3月）を行い、快適な生活環境づくりに努める。	【特記事項】 特になし。
【令和元年度 事業内容】 5月 関東地方環境美化運動 8及び3月 霞ヶ浦北浦清掃大作戦	【令和 2年度 事業内容】 5月 関東地方環境美化運動 8及び3月 霞ヶ浦北浦清掃大作戦 コロナ禍のため中止
【令和 3年度 事業内容】 5月 関東地方環境美化運動 9及び3月 霞ヶ浦北浦清掃大作戦	

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	1,642	0	2,417
歳入計（千円）		1,642	0	2,417
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	229	0	446
	11 役務費	60	0	0
	12 委託料	1,353	0	1,971
歳出計（千円）（A）		1,642	0	2,417
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆増 予
職員人工数		0.65	0.65	0.65
職員人件費（B）		5,039	5,059	5,059
総事業費（A）＋（B）		6,681	5,059	7,476

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	広報回数	回	目標	3.00	3.00	3.00
	広報誌やホームページによる啓発		実績	3.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	清掃参加者数	人	目標	20,000.00	20,000.00	20,000.00
	年間参加人数（累計）		実績	19,853.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民がつくる自然環境の保全と活用及び快適な住環境づくり
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 環境美化に対する意識の高揚と犯罪の抑制を期待できることから市民協働まちづくりには必要不可欠
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域自主活動やボランティア活動の奨励、こども達への環境教育など持続的な社会の創造
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 環境美化の関心が薄れることで住民生活や環境の悪化を招く
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 市民の積極的な地域自主活動やボランティア活動の奨励
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内一斉であり公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 廣原正則
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 霞ヶ浦・北浦清掃大作戦など一斉清掃については、行政区長等と連携し継続する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 山内美則
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 一斉清掃を継続することにより、市民の環境美化や不法投棄防止の意識醸成に努める。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	公害防止対策事業（政策）						事業類型	業務委託	
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	公害防止条例等
			04	01	06	05	政策経費		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	行政主体	
	1 環境保全・公害						担当課係等	環境保全課	
④公害の防止						環境政策担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市内の環境を継続的に監視し、快適な生活環境づくりに寄与すると共に環境保全の向上を図る。	【関連事業】 公害防止対策事業
【期待される効果】 かすみがうら市を公害のない住みやすい街にする。	【対象者】 市内全域
【全体概要】 市内の河川水質、地下水、工場・事業場排水、ゴルフ場内からの排水（農薬）、土壌の現状を調査し、環境基準の達成状況を把握する。	【特記事項】 特になし。
【令和元年度 事業内容】 河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所12箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。 観測井戸水位計の更新	【令和2年度 事業内容】 河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所12箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。
【令和3年度 事業内容】 河川水質（10河川16箇所）、地下水（34箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所12箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。	

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	4,793	3,345	4,312
歳入計（千円）		4,793	3,345	4,312
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	22	0	0
	11 役務費	18	0	0
	12 委託料	3,551	3,332	4,299
	13 使用料及び賃借料	13	13	13
	17 備品購入費	1,188	0	0
歳出計（千円）（A）		4,793	3,345	4,312
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 28.90 予 16.72
職員人工数		0.42	0.45	0.45
職員人件費（B）		3,256	3,502	3,502
総事業費（A）＋（B）		8,050	6,847	7,814

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	ゴルフ場水質検査箇所数	箇所	目標	12.00	12.00	12.00
	市内で調査を行っているゴルフ場の箇所数		実績	12.00	12.00	0.00
	下土田残土現場水質調査	回	目標	2.00	2.00	2.00
	残土現場及び周辺河川等の年間水質検査回数		実績	2.00	2.00	0.00
成果 指標	ゴルフ場排水基準の達成率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	ゴルフ場からの排水が基準値内である割合		実績	100.00	100.00	0.00
	下土田残土現場水質調査	箇所	目標	8.00	8.00	8.00
	残土現場及び周辺河川等の水質検査箇所数		実績	8.00	8.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公害や苦情のない住みやすい環境の構築に必要な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業であり、行政の関与が必要である
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 生活環境保全のため、必要最小限度の継続的な調査及び検査が必要である
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の安心な生活の保障に影響を及ぼす
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 各調査個所の見直しは、継続性が損なわれる可能性があるため慎重に行う必要がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全域が対象であり、公平・公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者： 廣原正則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 河川湖沼など公共水域及び地下水汚染を防止するため水質の常時監視を継続実施。工場の定期立入調査は計画通りに実施する。また調査結果に基づき、適切な指導を実施する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者： 山内美則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 河川湖沼などの公共水域及び地下水の汚染を防止するため、水質や土壌の検査による監視を継続して実施する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	一般廃棄物処理事業（政策）						事業類型	業務委託	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
			04	01	06	09	政策経費		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 資源循環型社会の形成						市民協働	行政主体	
	1 廃棄物処理						担当課係等	環境保全課	
①広域ごみ処理施設建設の推進								衛生担当	
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 各種ごみ収集運搬を実施することで、市民の快適な生活環境を実現する。	【関連事業】 一般廃棄物処理事業、リサイクル推進事業（政策）
【期待される効果】 ごみ収集運搬を適正に行うことで、市民の快適な生活環境を保全する。	【対象者】 市民全体
【全体概要】 一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーの日程に従って収集する。委託により可燃ごみ、不燃ごみ、カン、ビン、ペットボトル、資源ごみ、粗大ごみのステーション方式による収集を行っている。	【特記事項】 令和2年度末に新ごみ処理施設完成となり、令和3年度から運用を開始。令和2年度をもって新治地方広域事務組合が解散。
【令和元年度 事業内容】 霞台厚生施設組合建設計画課による新たな広域化ごみ処理施設建設を推進する。一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。 一般廃棄物処理基本計画の見直し	【令和2年度 事業内容】 霞台厚生施設組合による新たな広域化ごみ処理施設建設を推進する。一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。
【令和3年度 事業内容】 霞台厚生施設組合による新たな広域化ごみ処理を推進する。一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。	

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	1,411,090	1,839,005	342,117
歳入計（千円）		1,411,090	1,839,005	342,117
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	10 需用費	149	1,618	198
	12 委託料	126,108	120,109	151,297
	18 負担金、補助及び交付金	1,284,833	1,717,278	190,622
歳出計（千円）（A）		1,411,090	1,839,005	342,117
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%)
		1,421,149	1,882,350	-81.3
職員人工数		1.00	1.00	-81.8
職員人件費（B）		7,752	7,782	7,782
総事業費（A）＋（B）		1,418,842	1,846,787	349,899

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	年間のごみ収集日数	日	目標	307.00	305.00	259.00
	委託業者による収集日数		実績	307.00	305.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	ごみ収集量	トン	目標	14,000.00	14,000.00	14,000.00
	1年間のごみ収集量		実績	15,040.98	15,611.16	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 家庭系一般廃棄物収集に関する事業であり、集積所からステーション方式による収集業務委託を実施しており、市民の快適な生活環境のため必要不可欠な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業であり、行政に義務づけられている
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 ごみ収集運搬業務の検証及び見直しにより、きめ細かい丁寧な収集を指導する
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 清潔で快適な市民生活が損なわれる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 ごみ減量化を促すことで収集業務委託経費の削減は期待できる委託業務であることから人件費は最少経費である
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全域を対象としていることから公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：廣原正則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 廃棄物処理対策については、一般廃棄物処理基本計画に基づき、3R推進など啓発活動や減量化のための事業を今後も積極的に展開する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：山内美則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの分別徹底やリサイクル推進など、ごみの減量化を図る。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 2年度								
事務事業名	リサイクル推進事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	生ごみ処理容器等設置事業補助金設置要項 、資源物回収事業補助金交付要綱
			04	01	06	11			
総合計画体系	1. 自然の恵みを享受できるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 資源循環型社会の形成						市民協働	市民の関与	
	1 廃棄物処理						担当課係等	環境保全課	
③リサイクルの推進						衛生担当			
事業期間	継続								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民が積極的にごみの分別、資源化及びごみの減量化に取組み資源循環型社会を目指す。	【関連事業】 一般廃棄物処理事業（政策）
【期待される効果】 市民のごみ分別意識の向上、リサイクル率の向上、ごみの減量化、地球温暖化の抑止等	【対象者】 市内各世帯及び子ども会等 団体
【全体概要】 団体登録を募集し、有価物団体登録をした子ども会等での資源物集団回収に対して補助金を交付する。生ごみ処理機等を設置した世帯に対しても補助金を交付する。	【特記事項】 小型家電リサイクル回収ボックスやインクカートリッジ回収ボックスを震ヶ浦庁舎担当窓口へ設置するなど、リサイクルの推進を図る。
【令和元年度 事業内容】 子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付。生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付。	【令和 2年度 事業内容】 子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付。生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付。
【令和 3年度 事業内容】 子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付。生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付。	

■ 事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	37	81	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	1,184	1,457	1,447
歳入計（千円）		1,221	1,538	1,447
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	07 報償費	75	0	100
	10 需用費	386	79	247
	12 委託料	0	660	0
	18 負担金、補助及び交付金	760	798	1,100
歳出計（千円）（A）	1,221	1,538	1,447	
（参考）	当初予算額	1,595	当初予算額	2,338
職員人工数	1.00	0.80	伸び率(%)	決 -5.85 予 -38.1
職員人件費（B）	7,752	6,226		6,070
総事業費（A）＋（B）	8,973	7,763		7,517

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	補助金交付団体数	団体	目標	45.00	45.00	45.00
	子ども会等の団体数		実績	35.00	20.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	回収した資源物	トン	目標	200.00	200.00	200.00
			実績	134.62	102.15	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 資源循環型社会形成の推進は自然の恵みを享受できるまちづくりの施策のひとつ
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 リサイクルは、廃棄物減量化と資源有効利用を目的とし、市民の意識向上を図ることで資源循環型社会の形成に資する
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 資源物回収事業については、少子化や学校の統廃合により子ども会の規模が縮小傾向であるため、行政区などの団体を取り組む必要あり。資源化率の向上のため新たな取り組みのみ等事業の見直しが必要。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 循環型社会形成の推進に影響があり、ごみの減量意識の低下を招く
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 循環型社会形成の推進に必要な補助事業であり、事業費の削減は市民の意識低下を招く
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助対象を市内各世帯及び子ども会等団体としており、公平性は保たれている

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 廣原正則
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 事業活動を通し、ごみのリサイクルや減量化に対する意識向上をこれまで以上に推進する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 山内美則
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 今後も、ごみの分別やリサイクルに対する意識の向上を図るため、事業を推進する。		

計画対象年度	令和 2年度		事務事業評価シート					事業類型	補助事業		
事務事業名	環境保全推進事業 (政策)							根拠法令	自立・分散型エネルギー設備導入補助金交付要綱		
予算科目	会計	01	04	01	06	13	要求区分 政策経費				
総合計画体系	1. 自然の恵みを享受できるまちづくり						総合計画対象	対象			
	(3) 資源循環型社会の形成						市民協働	行政の関与			
	2 再生可能エネルギー						担当課係等	環境保全課			
①分散型エネルギーの活用						環境政策担当					
事業期間	継続										

現状把握の部 (D0)

【目的】	限りある化石燃料に変わる再生可能エネルギーを推進することで地球温暖化対策に寄与する。		【関連事業】	なし	
【期待される効果】	地球温暖化抑止及び温室効果ガスの削減並びに災害に備えたまちづくり		【対象者】	市民全体	
【全体概要】	県で推進する事業を活用し、水素の利活用の促進とエネルギー利用の効率化を図るため、機器導入した住民に対し補助金を交付するもの。		【特記事項】	特になし。	
【令和元年度 事業内容】	自立・分散型エネルギー設備導入促進補助金		【令和 2年度 事業内容】	自立・分散型エネルギー設備導入促進補助金	
【令和 3年度 事業内容】	自立・分散型エネルギー設備導入促進補助金				

■事業費

		R01年度	R02年度	R03年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	500	600	1,000
	一般財源・その他	500	900	2,227
歳入計 (千円)		1,000	1,500	3,227
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
	12 委託料	0	0	1,227
	18 負担金、補助及び交付金	1,000	1,500	2,000
歳出計 (千円) (A)		1,000	1,500	3,227
(参考)		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 115.1 予 115.1
職員人工数		0.06	0.10	0.18
職員人件費 (B)		466	779	1,401
総事業費 (A) + (B)		1,466	2,279	4,628

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	広報回数	回	目標	1.00	1.00	1.00
	広報誌やホームページによる啓発		実績	1.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	補助金交付件数	件	目標	10.00	15.00	20.00
	定置用リチウムイオン蓄電池システムへの交付件数		実績	10.00	15.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 資源循環型社会の形成に向けた再生可能エネルギーの活用
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 限られた資源の有効活用と災害に備えた自立分散型エネルギー供給システムの導入を促すことでイノベーションが図られ普及促進が進む
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 1基あたりのコストが高い割に補助金の上限が低い。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地球温暖化対策などに取り組むうえで、市民の意識低下を招く。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 1基あたりの導入コストが高く、事業費の削減は意欲低下を招く。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全域対象であり公平公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	国及び県の動向に注視して取り組む。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：廣原正則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 再生可能エネルギー政策を進めるうえで必要となる事業であり、国・県等の動向にあわせ、今後も推進する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：山内美則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） この事業を推進するとともに「地球温暖化対策の推進に関する法律」の改正に伴う新たな事業も模索するよう努める。		